



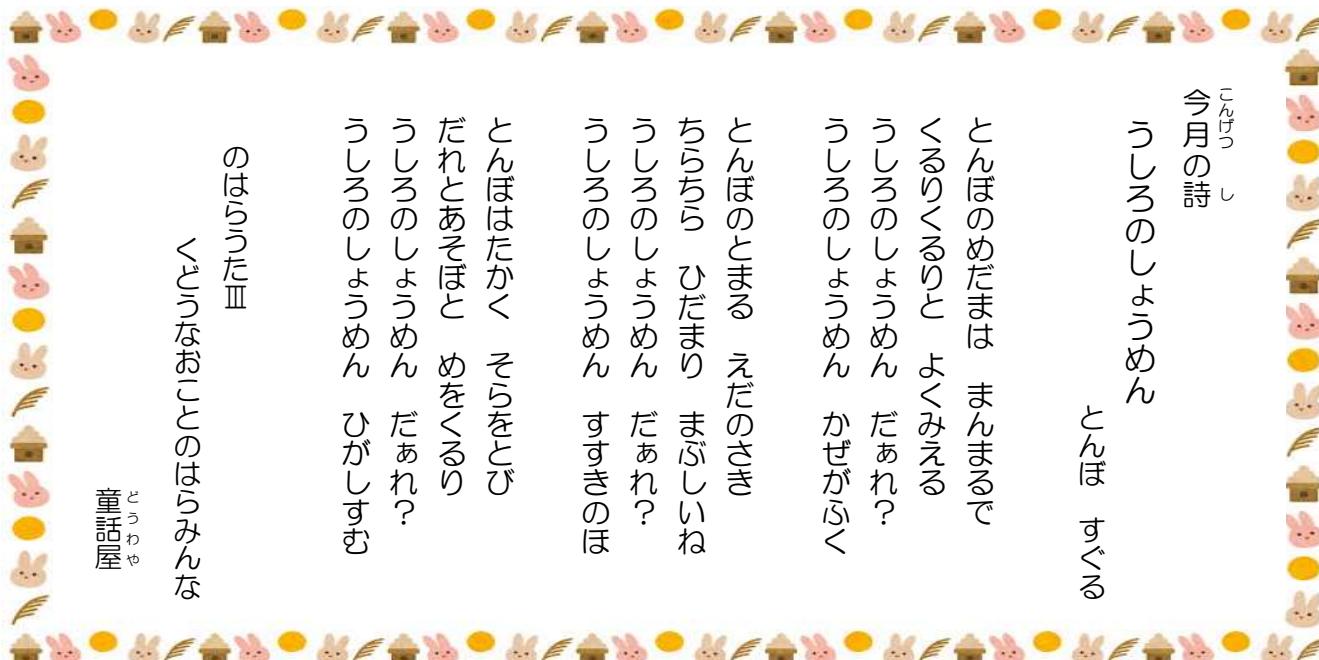
# 本はともだち

9月号  
2025.9.11

「夏休み貸し出し」はいつもより多く3~5冊でした。心にのこる本はありましたか?

いつもより文字の多い本を借りた人や、読んだことのない分類の本を借りた人が、おおぜいいま

した。これからも、たくさん本に出会って、自分の「すき」をいっぱい見つけてほしいです★



「大畑惣教育基金」により購入した本が届きました

大畑惣先生は市川市立信篤小学校の最初の校長先生でした。(1896年から1912年)

先生の孫、大畑一枝先生の「遺産は市川市の子どもたちの教育につかってほしい」との遺言から遺族の方の寄付により、市川市では平成元年に「大畑惣教育基金」を設立、いろいろな教育事業に活用し、小学校図書館の図書購入費としても使われています。

このあとも新しい本が入りますので、楽しみにしておいてください!



秋分の日について考えよう

9月23日(火)は、「秋分の日」です。

昼夜の長さがほぼ同じになることから、あの世とこの世が最も近づく日と考えられています。

そのため、秋分の日の前後3日間を「お彼岸」といって、ご先祖さまや、なくなつた人たちのことを思い出して大切にする時期とされています。

図書室にある、人がなくなることがテーマの本を紹介します。



『パパにはともだちが  
たくさんいた』  
にほんのえほん ⑩



『西の魔女が死んだ』  
913な



『ラン』  
913も

わふうげつめい  
【和風月名】

9月の和風月名は、「夜長月」といい、それを略して「長月」ともいいます。

9月になると、暑かった夏もいきおいがおとろえ、朝夕はすこし涼しさが感じられるようになります。だんだん日も短くなり、夜が長くなることから、こう呼ばれています。

ほかにも、菊の花がさきほこる月ということから「菊月」、紅葉の季節になってくることから「紅葉月」などともいいます。

(『きょうはなんの日? ~記念日・人物・できごと・お祭り・事件~ 9月・10月』より引用)

